

2014年6月12日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2014年22号)

ワールドカップ開催に反対する抗議デモについて

リオ州軍警察によれば、ワールドカップ開会式に合わせ、12日午前10時頃から、リオ市中心部の旧市街地（セントロ地区）において、ワールドカップ開催に反対する抗議デモが開催されました。約1,000人のデモ隊は午前10時頃、セントロ地区カンデラリア広場に集まり、旧市街中心通りであるリオ・ブランコ大通りを通行止めにしながらしネランジャ広場に向かった後、ラパ地区のアルコス・ダ・ラパ（水道橋）広場で集会を行い、「教育と健康のない国でのワールドカップなど意味がない」等訴えました。集会終了間際には、取締りに当たっていた機動隊員に対して椅子やビール瓶などを投擲した男女3人が逮捕されています。

デモ隊は、午後2時頃には解散していますが、インターネット上で、コパカバーナ地区のファンフェスタ会場付近で同様のデモが呼びかけられており、場所を変えてデモが継続される可能性があります。

また、軍警察によれば、同デモには覆面を装着した暴力的な参加者も数十人確認されており、今後、ファンフェスタ会場等に場所を変えて暴力行為に及ぶことが懸念されます。

本日は、ファンフェスタ会場付近への不要不急な外出を控え、もしやむを得ず出かけるのであれば、テレビやインターネットで最新の情報を入手して警戒してください。また、デモが開催されるような様子（広場等公共スペースにプラカードを持った人々が集まり始める等）を察知した際は直ちに安全な場所に退避するようお願いします。